双葉通信【第 234 回】（被災地を行く№23）“ふくしまの切り捨ては許さない”

202 年 1 月 10 日　上田　勉

津軽海峡フェリーに乗って　青森から函館へ

昨年の 12 月 29 日～31 日の 2 泊 3 日で、青森から函館へ行って来ました。JR の「青春 18 切符」が大改悪されたので（1 カ月で好きな日に 5 回乗車できたのに、連続した 5 日間になってしまった)、今回は JR 東日本の「北海道＆東日本パス」（7 日間各駅停車が乗り放題　1 万 1 千円）を使用しました。

今回は青い森鉄道（東北新幹線の開通によって第三セクターになってしまった）の八戸駅⇔青森駅間が雪の為に不通になってしまいました。止む負えず東北新幹線を使いました。1 日目は八戸駅前の東横インで 1 泊しました

2 日目は、津軽海峡フェリーで、青森から函館へ行きました。片道約 4 時間です。椅子もありますが、カーペットで寝っ転がっていればよくて、究極の乗り物だと思いました。津軽海峡トンネルは貨物も通りますが、北海道への物流の多くは、フェリーです。フェリーも大型貨物を積むために、見るからに大型です。

青森は大雪なのに、函館はうっすらと晴れていました。函館では市電に乗りたかったのですが、あいにく時間がありませんでした。新函館北斗駅から新青森駅までは北海道新幹線に乗りました。そして、青森駅の東横インに泊まりました。

3 日目は、ただひたすら各駅停車に乗るだけです。新青森駅⇒八戸駅間は東北新幹線、盛岡駅までは青い森鉄道と岩手銀河鉄道、盛岡駅からは東北本線で一ノ関駅・小牛田駅・仙台駅で乗り換えて、仙台駅からは常磐線で、原ノ町駅で乗り換えて、竜田駅に着きました。

昔は、北海道新幹線が開通するまでは、青森⇔函館間は「青函連絡船」が就航していました。1954 年 9 月 26 日、台風 15 号によって、洞爺（とうや）丸が沈没しました。死者は 1,155 人に及び、日本海難史上最悪の事故になりました。水上勉原作の『飢餓海峡』は、この洞爺丸事故を扱っています。映画では、内田吐夢監督・三國連太郎・伴淳三郎・左幸子主演で上映されました。

青森から函館へ行く人達には、2 つのタイプがあると思います。第一は、故郷である北海道へ帰る人達です。ポジティブな人たちです。歌で言えば、(#どこか違うのこの町だけはなぜか私にやさしくするの♭「恋の町札幌」唄：石原裕次郎)。(#逢いたい気持ちがままならぬ　北国の町はつめたく遠い♭「小樽の人よ」唄：鶴岡正義と東京ロマンチカ）が当てはまります。

第二は、都会で失恋したり、職を失ったりして、自分探しをする人達です。ネガティブな人たちです。歌で言えば、(#北へ帰る人の群れは誰も無口で　海なりだけを聞いている♭「津軽海峡冬景色」唄：石川さゆり）(#たどりついたら岬のはずれ　赤い灯が点くぽつりとひとつ♭「北の旅人」唄：石原裕次郎)）が当てはまります。私の心境は、後者でした。この先いつまで福島にいられるのか、悩みは尽きませんでした。

【津軽海峡フェリー（青森フェリーターミナル)】(2024 年 12 月 30 日撮影)

【#ごらんあれが竜飛岬　北のはずれと♭（竜飛（たっぴ）岬（青森県)】(2024 年 12 月 30 日撮影)